
2014年度 第3四半期

決算説明資料



2015年 2月10日

(単位:億円)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比増減 (伸び率)
売上高	4,671	4,892	+221 (104.7%)
営業利益	246	249	+2 (101.0%)
(営業外損益)	(14)	(20)	+6
経常利益	260	269	+9 (103.3%)
(特別損益)	(8)	(27)	+19
当期純利益	151	178	+28 (118.3%)
自己資本	2,019	2,197	+178 (108.8%)
総資産	5,321	5,486	+165 (103.1%)
経常利益率	5.6%	5.5%	
ROE	7.8%	8.4%	
EPS	77.01円	91.00円	
自己資本比率	37.9%	40.1%	
ネットD/Eレシオ	0.67	0.59	

2014年度 第3四半期 事業セグメント別業績(4~12月)



(単位:億円)

		2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比	主な売上高・利益増減要因
産業ガス関連	売上高	1,414	1,491	105.4%	<ul style="list-style-type: none"> ●高水準な鉄鋼生産を反映し高炉オンサイトが順調に推移 ●エレクトロニクス、造船等で顧客操業度向上し、エアセパ中心に数量回復 ●電気料金の値上げほかコストアップ要因継続
	経常利益	95	91	95.7%	
ケミカル関連	売上高	710	771	108.7%	<ul style="list-style-type: none"> ●コークス炉ガス処理量は持ち直すも、粗ベンゼン販売減 ●ファインケミカルは原料調達合理化や海外拠点への生産シフトが進展
	経常利益	20	17	86.1%	
医療関連	売上高	825	835	101.3%	<ul style="list-style-type: none"> ●医療用酸素が新規病院獲得による数量確保 ●医療機器が消費増税反動減の影響が薄れ順調に回復 ●医療サービスは受託滅菌の受注が拡大、在宅医療もレンタル堅調
	経常利益	42	44	106.1%	
エネルギー関連	売上高	366	369	100.8%	<ul style="list-style-type: none"> ●LPガスは、単位消費量減少や原油価格急落影響など厳しい環境続くも増客、燃転等により、数量確保。灯油は、LPガスとの付帯販売に注力し拡販
	経常利益	16	17	106.3%	
農業・食品関連	売上高	560	560	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> ●飲料事業が増税反動減、原料調達コスト上昇、需要低迷 ●農産・加工事業が、調達コスト上昇、天候影響により販売減少
	経常利益	27	21	76.4%	
その他 (海水、物流、その他)	売上高	797	865	108.6%	<ul style="list-style-type: none"> ●塩の販売堅調 ●高級電磁鋼板用マグネシアの増販 ●物流事業の荷扱い量増加、軽油安ならびに特殊車両製造の受注拡大
	経常利益	56	59	105.7%	
(調整額)	経常利益	4	19	-	-
合計	売上高	4,671	4,892	104.7%	-
	経常利益	260	269	103.3%	

<産業ガス関連セグメント>

(10～12月／会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
ガ ス	325	328	101%	<ul style="list-style-type: none"> ●高炉オンサイト酸素供給数量は高水準を継続 ●顧客・業種ごとに濃淡あるものの、エアセパ中心にガス供給回復 ●半導体向けバルクガスの数量回復
機 器 ・ 工 事	82	100	122%	●LNGサテライト工事ほか
情 報 電 子 材 料	83	92	111%	●電子材料分野で回復基調
計	490	520	106%	—

(4～12月／累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
ガ ス	942	983	104%
機 器 ・ 工 事	229	247	108%
情 報 電 子 材 料	243	262	108%
計	1,414	1,491	105%

2014年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳(2)

<ケミカル関連セグメント>

(10~12月/会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
コールケミカル	217	235	108%	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス精製は、コークス炉ガス処理量が徐々に回復 ●粗ベンゼンが原油価格下落等により数量、価格とも低下
ファインケミカル	23	24	104%	<ul style="list-style-type: none"> ●精密化学品はキノリン増販、原料調達見直しによる収益改善 ●機能化学品は製造拠点合理化による構造改革が進展
計	240	259	108%	—
シーケム(持分益)	1.4	0.4	26%	●ニードルコークスは原料価格上昇と市況悪化

(4~12月/累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
コールケミカル	647	698	108%
ファインケミカル	63	73	117%
計	710	771	109%
シーケム(持分益)	4.3	2.1	49%

2014年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳(3)

<医療関連セグメント>

(10~12月/会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
医療ガス	24	24	100%	●医療用酸素は、新規病院獲得により数量確保
設備	64	56	89%	●高度医療における手術室・ICU増設のニーズが続き、堅調 ●病院設備全体の複合受注を目指し体制強化、新たに戦略的営業を開始
医療サービス	119	116	97%	●SPDは、病院との契約見直しにより受注選別 ●受託滅菌は、新規顧客獲得による増販
医療機器	9	9	99%	●新生児・小児用人工呼吸器の販売増加 ●ガス性医薬品が順調に増加
在宅医療	22	22	103%	●酸素濃縮器レンタル数増加、在宅輸液ポンプの採用拡大
その他	54	60	111%	●歯科領域など、新規連結分野の販売堅調
計	291	287	99%	—

(4~12月/累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
医療ガス	69	69	100%
設備	176	171	97%
医療サービス	344	349	102%

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
医療機器	24	26	108%
在宅医療	64	67	105%
その他	149	154	103%
計	825	835	101%

2014年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳(4)

<エネルギー関連セグメント>

(10～12月／会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
L P ガ ス	142	142	100%	<ul style="list-style-type: none"> ●新規顧客獲得、燃料転換推進等により、販売数量確保 ●ハイブリッド給湯暖房システムの拡販により、LPガスの単位消費量増加
天然ガス関連ほか	11	11	97%	●天然ガスが販売数量・単価ともに堅調
計	154	153	100%	—

(4～12月／累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
L P ガ ス	341	338	99%
天然ガス関連ほか	26	31	121%
計	366	369	101%

<農業・食品関連セグメント>

(10～12月／会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
食品関連	49	47	96%	●ハム・デリカ・冷凍食品事業は、水産加工品の縮小、年末のギフト販売低迷
農業関連	133	126	95%	●飲料事業は、消費増税の反動減、需要期の低温影響から販売減少 ●農業・加工事業は、悪天候による原料野菜の悪化、市場価格の低迷
計	182	172	95%	—

(4～12月／累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
食品関連	125	124	99%
農業関連	435	436	100%
計	560	560	100%

2014年度 第3四半期 事業セグメント別業績内訳(6)

<その他セグメント>

(10～12月／会計期間)

(単位:億円)

	2013.3Q	2014.3Q	前年同期比	主な売上高増減要因
日本海水	65	67	104%	●塩事業が新製品発売により数量確保、環境事業が水酸化マグネシウム販売堅調
タテホ化学	20	24	121%	●高級電磁鋼板用マグネシア販売増加
海水	84	91	108%	—
物流	98	101	103%	●土木、建設資材の輸送拡大、特殊車両製造のトラック架装車両受注拡大
その他	97	105	108%	●NV(金属表面処理事業)が、国内外での受託処理堅調
計	280	297	106%	—

(4～12月／累計期間)

	2013.3Q累計	2014.3Q累計	前年同期比
日本海水	159	169	106%
タテホ化学	57	68	120%
海水	216	237	110%
物流	282	294	104%
その他	299	334	112%
計	797	865	109%

2014年度通期連結業績(予想)

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、期初予想の通りといたします。

(単位:億円)

	2013通期	2014通期(予想)	前年比増減 (伸び率)
売上高	6,413	6,700	+287 (104.5%)
営業利益	351	380	+29 (108.3%)
経常利益	363	390	+27 (107.5%)
当期純利益	192	205	+13 (106.6%)
有利子負債	1,555	1,567	+12 (100.8%)
自己資本	2,035	2,196	+161 (107.9%)
総資産	5,281	5,495	+214 (104.1%)
経常利益率	5.7%	5.8%	
ROE	9.9%	9.7%	
EPS	98.32円	104.73円	
自己資本比率	38.5%	40.0%	
ネットD/Eレシオ	0.66	0.63	

2014年度 事業セグメント別 売上高・経常利益(予想)



(単位:億円)

		2013通期		2014通期		前年比	
		実績	利益率	期初計画	見直計画	増減	伸び率
産業ガス関連	売上高	1,892	-	2,000	2,000	+108	105.7%
	経常利益	131	6.9%	141	134	+3	102.5%
ケミカル関連	売上高	952	-	960	1,000	+48	105.1%
	経常利益	29	3.0%	30	29	+0	100.3%
医療関連	売上高	1,200	-	1,240	1,240	+40	103.3%
	経常利益	76	6.3%	82	82	+6	107.6%
エネルギー関連	売上高	573	-	630	630	+57	110.0%
	経常利益	32	5.7%	36	35	+3	108.1%
農業・食品関連	売上高	717	-	780	750	+33	104.7%
	経常利益	26	3.6%	27	24	▲2	93.6%
その他 (海水、物流、その他)	売上高	1,080	-	1,090	1080	+0	100.0%
	経常利益	71	6.6%	71	76	+5	106.7%
(調整額*)	経常利益	▲2	-	4	10	+12	-
合計	売上高	6,413	-	6,700	6,700	+287	104.5%
	経常利益	363	5.7%	390	390	+27	107.5%

*調整額：各セグメントに帰属しない一般管理費等

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。